SONY

4-154-383-02 (1)

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この設置説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA

SNC-RH124 HD
SNC-RS46N/RS46P
SNC-RS44N/RS44P

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災 感電

行為を禁止する記号

禁止 分解禁止

ぬれ手禁止 水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示

警告 下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**、**落下**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

火災 感電

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

指示

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

指示

設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれ禁止

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指示

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

指示

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

指示

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

指示

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

禁止

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

禁止

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

指示

コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えたりすることがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

禁止

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

接続の際は電源を切る

指示

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

指示

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

保証書とアフターサービス

保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または近くのソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に
開梱してから、結露などがある場合には60分程度、放置後電源を入れてください。

データ・セキュリティについて

- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。
- 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。
- ワイヤレスLAN をご使用時はセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について
本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について
次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所(使用温度は0℃～50℃)
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のある所

放熱について
動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

輸送について

- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

- レンズの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることもあります。

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

レーザービームについてのご注意
レーザービームは撮像素子に損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

撮像素子特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、撮像素子特有の現象で、故障ではありません。

白点
撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターのとき

スミア現象(SNC-RS46N / RS46P / RS44N / RS44Pのみ)
強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上の縦線や画乱れが発生することがあります。

折り返しひずみ
細かい模様、線などを撮影すると、ギザギザやちらつきが見えることがあります。

付属の説明書について

設置説明書(本書)
この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド(CD-ROMに収録)
カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。
設置説明書に従ってカメラを正しく設置、接続したあと、ユーザーガイドをご覧になって操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイド(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語)がPDF形式で記録されています。

準備
付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
Adobe Reader 6.0以上
Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。
http://www.adobe.com/

マニュアルを読むには

1. **CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**
   表紙ページが自動的にWeb ブラウザで表示されます。
   Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。
2. **読みたいマニュアルを選択してクリックする。**
   マニュアルのPDFファイルが開きます。
   「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意

- Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
  「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
- CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください(有料)。

AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

各部の名称と働き

カメラ本体 A

❶ **フロントフタ**
CFカードスロットを使用するとき取りはずします。

❷ **NETWORK(ネットワーク)インジケーター(緑/橙)**
ネットワークに接続されているときは点灯、または点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。
100BASE-Tで接続しているときは緑、10BASE-Tで接続しているときは橙で点灯します。

❸ **CFカードスロット**
別売のワイヤレスカードSNCA-CFW5*、または推奨CFメモリーカードを装着することができます。
SNCA-CFW5*に別売のワイヤレスLANアンテナSNCA-AN1を取り付けることで、無線LANでの通信可能距離を伸ばすことができます。

ご注意

- CFメモリーカードの上面を、本機のNETWORKインジケーター側にして装着してください。
- 動作確認済みのCFメモリーカードについては、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

* SNCA-CFW5、SNCA-AN1 は一部地域では販売されておりません。詳しくはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

❹ **CFカードレバー**
CFカードスロットに装着されたCFメモリーカードを抜くときに使用します。

❺ **リセットスイッチ**
先の細いもので、このスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

❻ **POWER(電源)インジケーター(緑)**
カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。正常に動作している場合はこのインジケーターが点灯します。

❼ **LOCK(ロック)ボタン(2か所)**
天井ユニットに、カメラ本体が正常に装着されていることを確認するときに使用します。

❽ **RELEASE(リリース)ボタン(2か所)**
天井ユニットから、カメラ本体を取りはずすときに使用します。

❾ **レンズ**

❿ **ケーブルフタ**
カメラの側面からケーブルを出したいとき、はずして配線します。

⓫ **内蔵ワイヤーロープ**
カメラ本体の落下を防止するために使用します。

⓬ **カメラ接続端子**
天井ユニットのカメラ接続端子(凹)と接続します。

重要
機器の名称と電気定格は、カメラ本体に表示されています。

天井ユニット 天井取り付け面 B

⓭ **DC 12 V/AC 24 V IN(電源入力)端子**
付属のAC電源ケーブルを使って、DC 12VまたはAC 24Vの電源供給装置へ接続します。

⓮ **(ライン出力)端子(ミニジャック、モノラル)**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。

⓯ **LAN(ネットワーク)ポート(RJ45)**
ネットワークケーブル(UTP、カテゴリー 5)を使用してネットワーク(10BASE-T/100BASE-TX)に接続します。

⓰ **(マイク入力)端子(ミニジャック、モノラル)**
市販のマイクを接続します。

⓱ **(映像出力)端子**
本機からの映像をコンポジット信号として出力します。接続には付属のモニターケーブルを使用します。

⓲ **I/O(入出力)ポート**
4系統のセンサー入力、2系統のアラーム出力を備えています。

ピン番号	ピン名称	色	ピン番号	ピン名称 RS232C	RS422/RS485(Full)	RS485(Half)	色
1	アラーム出力 1−	青	8		Rx−		黄
2	アラーム出力 1+	青	9	Rx	Rx+		橙
3	センサー入力 4	黄	10	Tx	Tx−	Tx−/Rx−	赤
4	センサー入力 3	橙	11		Tx+	Tx+/Rx+	茶
5	センサー入力 2	赤	12	GND			黒
6	センサー入力 1	茶	13	アラーム出力 2−			紫
7	GND	黒	14	アラーム出力 2+			紫

ご注意
各機能や設定について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。

⓳ **ワイヤーロープ固定ネジ穴**
本機を天井に設置するとき、付属のワイヤーロープを、付属のネジ(⊕M4×10)を使って固定します。

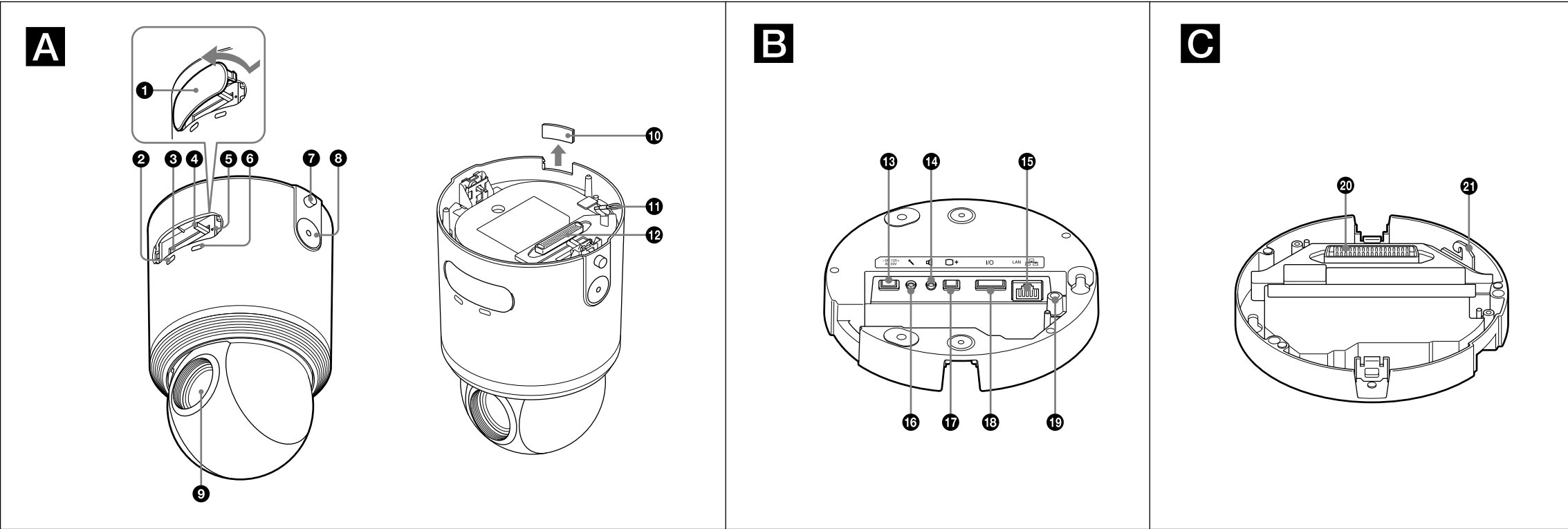
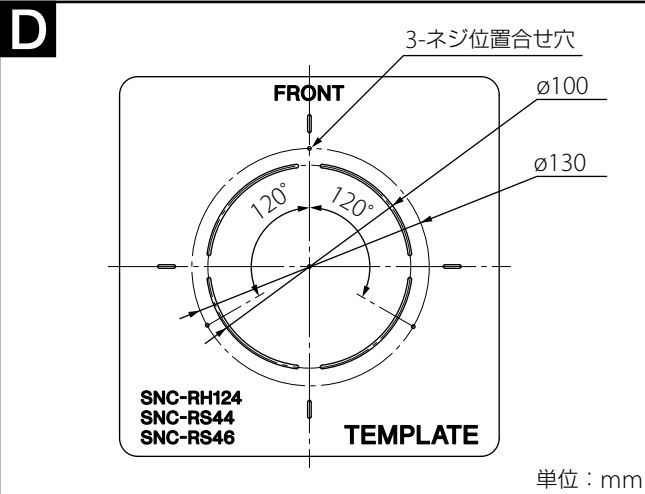
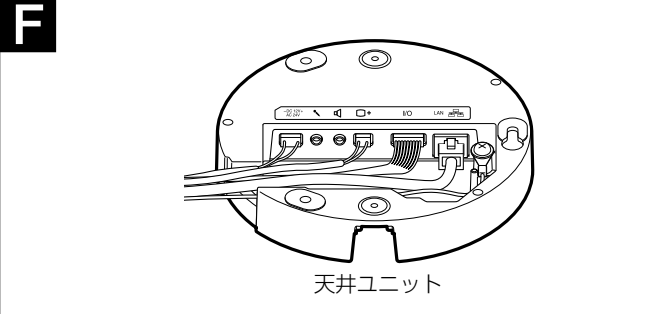
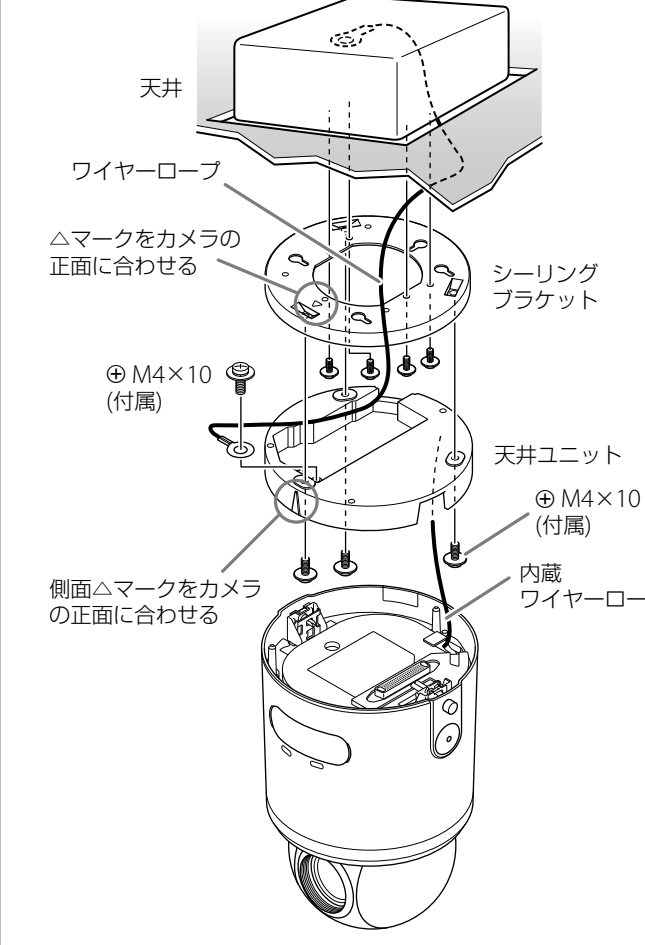
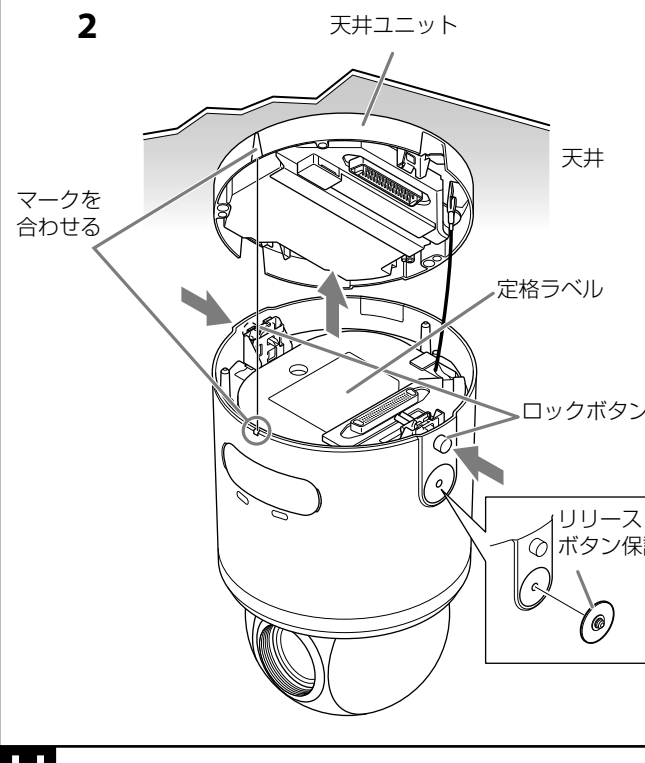
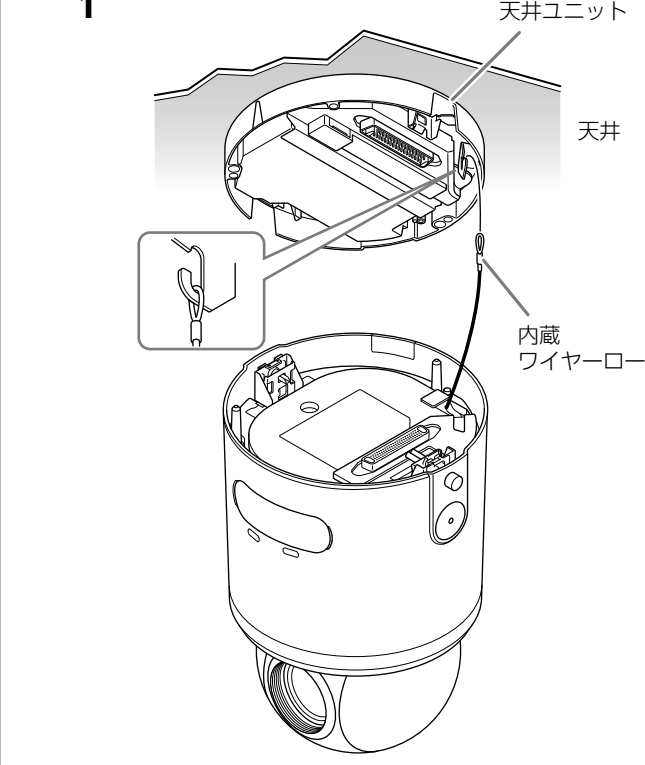
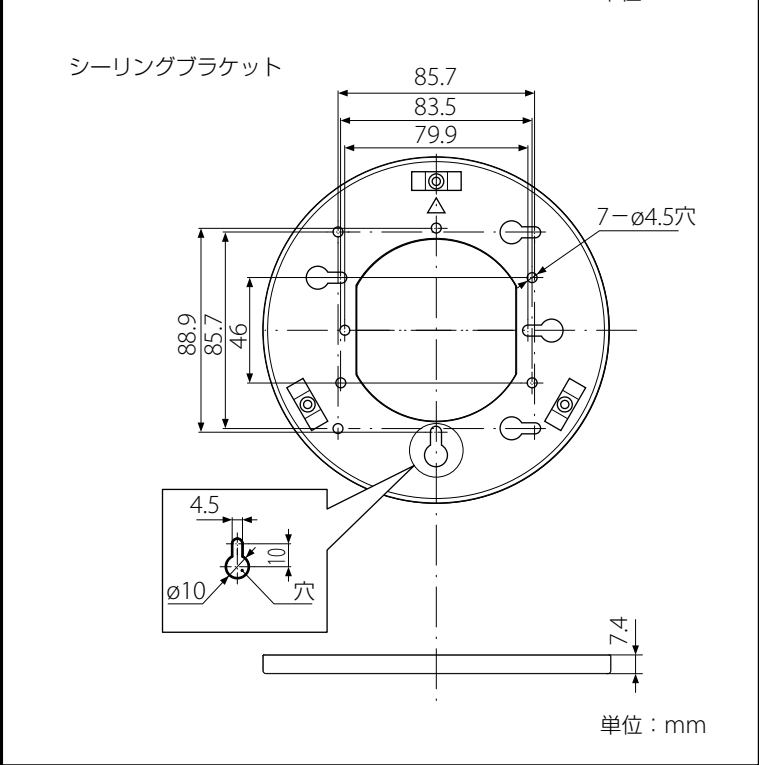
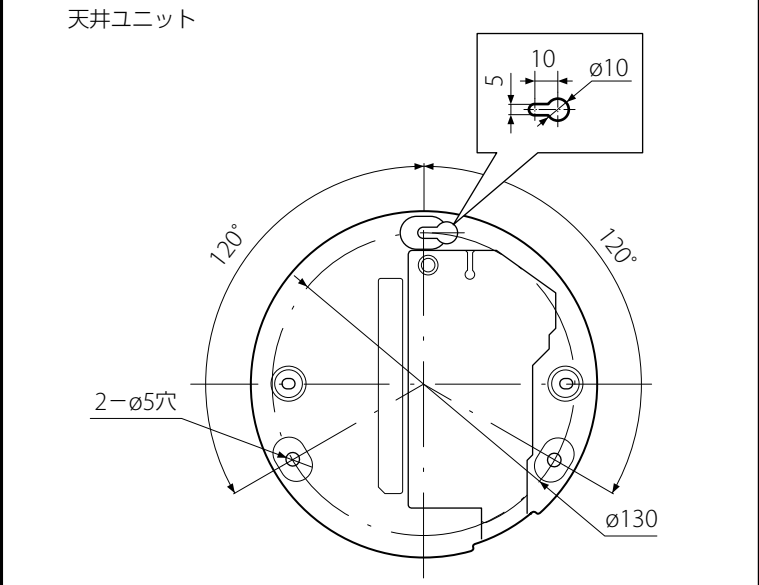
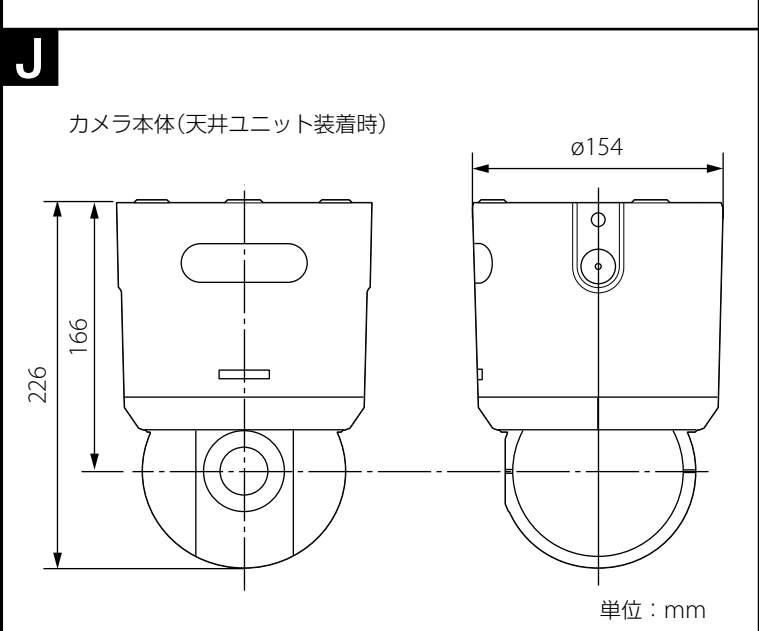
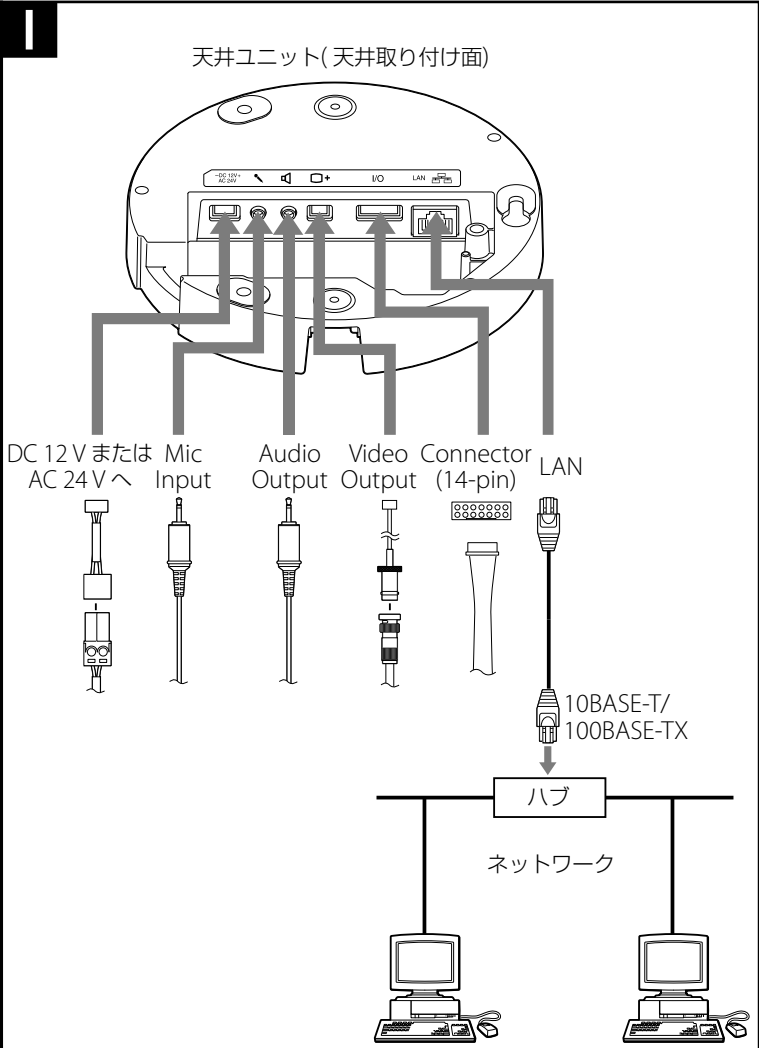
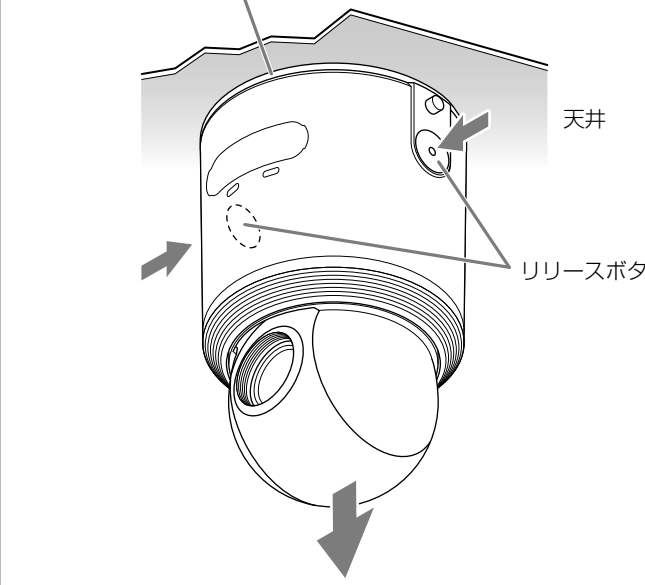
天井ユニット カメラ取り付け面 C

⓴ **カメラ接続端子**
カメラ本体のカメラ接続端子(凸)と接続します。

㉑ **内蔵ワイヤーロープ取り付けフック**
落下を防止するため、カメラ本体の内蔵ワイヤーロープを引っかけるときに使用します。

(裏面へ続く)

設置

ご注意

- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部をパン方向、チルト方向に手で回さないでください。故障の原因となります。
- 天井ユニットへカメラ本体を取り付けるときや取りはずすときは、天井ユニットの電源を切ってください。

天井に設置する

本機は、天井に取り付けた状態で画像を正視できます。
カメラの取り付けには3つの方法があります。

- 天井に直接取り付ける。
- 既存のジャンクションボックスを使用する。
- 天井に取り付けネジを使えない、またはカメラ本体を目立たせたくない場合は、別売の天井埋め込み金具YT-ICB124を使用する。
  ◆ 詳しくは、YT-ICB124の取付説明書をご覧ください。

設置する際には、水平な天井に設置してください。やむを得ず傾きのある天井に設置する場合は、パン・チルト動作の性能を保証するため傾きが水平面に対して±15°以内の天井に設置してください。

⚠警告

- 天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、本体とシーリングブラケットを含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、ワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置する前に

- カメラ正面の撮影方向を決めてから、天井に必要なジャンクションボックスや接続ケーブル用の各穴を開けておきます。
- ケーブル類をカメラの側面から出すときは、カメラ本体のケーブルフタを取りはずします。

天井に直接取り付ける

付属のテンプレートを使って配線用の穴(ϕ100 mm)を開け、天井ユニット取り付けネジ用穴(3か所)の位置を決めます。(D)

既存のジャンクションボックスを使用する

シーリングブラケットを天井のジャンクションボックスに取り付ける。
ネジは付属していません。
シーリングブラケットの△マークが、カメラの正面に来るように向きを調整して取り付けます。

取り付けネジについて

天井ユニットには3か所の穴(ϕ5 mm)があります。この穴を使って天井ユニットをネジで止めます。
設置する場所や材質により、使用するネジ類(付属していません)が異なります。
鋼材の場合：M4ネジとナットで固定してください。
木材の場合：タッピンネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。
コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。
ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

⚠警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

設置のしかた(天井ユニット)E

1 天井または、ジャンクションボックスへ付属のワイヤーロープを取り付ける。
天井または、ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ(付属していません)をお使いください。

2 ケーブル類を接続する。

3 ワイヤーロープを、付属のネジ(⊕M4×10)で天井ユニットの天井取り付け面にあるワイヤーロープ固定ネジ穴に固定する。

ご注意

- 他のケーブル類をはさみこまないようにワイヤーロープを固定してください。
- ケーブル類をカメラの側面から出すときは、天井ユニットの天井取り付け面にある溝に通してください。(F)

4 天井ユニットを天井または、シーリングブラケットに取り付ける。
ネジは仮止めしてください。仮止めが終わったら、それぞれのネジをしっかりと締めてください。

ご注意

- シーリングブラケット取り付け用ネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、正常な取り付けができず、落下する恐れがあります。
- ケーブル類をカメラの側面から出すときは、はさみこまないように取り付けてください。

設置のしかた(カメラ本体)G

1 カメラ本体から内蔵ワイヤーロープを引き出し、天井ユニットの内蔵ワイヤーロープ取り付けフックへ引っかける。

2 マークを合わせて天井ユニットにカメラ本体をカチッと音がするまで差し込みます。

3 LOCK（ロック）ボタン(2か所)を押し込み正しく装着されているか確認してください。

ご注意

LOCK（ロック）ボタンが押せない場合や本体から飛び出ている場合は、正しく装着されていません。カメラ本体を天井ユニットに突き当たるまで差し込んでもう一度LOCK（ロック）ボタンを押して確認してください。

RELEASE（リリース）ボタンを押せないようにする場合は、リリースボタン保護板を取り付けてください。

ご注意

ネジを締めるときは、0.5 N•m (4.9 kgf•cm)以下のトルクで締めてください。あまり強く締めるとリリースボタン保護板が壊れることがあります。

カメラのはずしかたH

1 左右にあるRELEASE（リリース）ボタン(2か所)を同時に押しながらカメラ本体を引き抜く。
リリースボタン保護板を取り付けた場合は、取りはずしてください。

ご注意

RELEASE（リリース）ボタンを押すときは、必ずカメラを押さえてください。カメラが落ちる危険があります。

接続

ネットワークへの接続 I

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANポートとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

電源への接続 I

本機は、次の3つの方法で電源を接続できます。

- DC 12 V
- AC 24 V
- HPoE

DC 12 VまたはAC 24 V電源への接続

DC 12 V またはAC 24 Vの電源供給装置を本機の電源入力端子へ接続します。

- DC 12 V またはAC 24 V は、商用電源 に対して絶縁された電源を使用してください。
- それぞれの電源の使用電圧範囲は次のとおりです。
  DC 12 V：10.8 V ～ 13.2 V
  AC 24 V：21.6 V ～ 26.4 V
- DC 12 V またはAC 24 Vの配線には、UL ケーブル（VW-1 style 10368）を使用してください。

推奨電源ケーブル

DC 12 V の場合

ケーブル（AWG）	#24	#22	#20	#18
最大ケーブル長（m）	2	4	7	12

AC 24 V の場合

ケーブル（AWG）	#24	#22	#20	#18
最大ケーブル長（m）	11	19	28	51

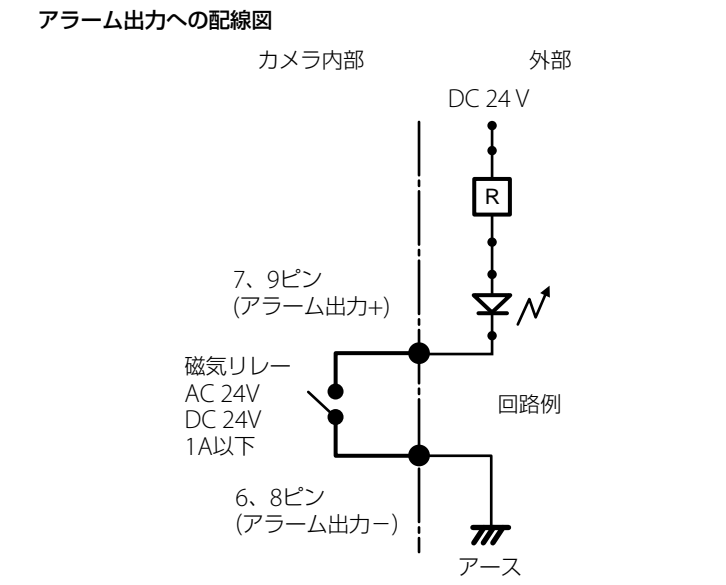
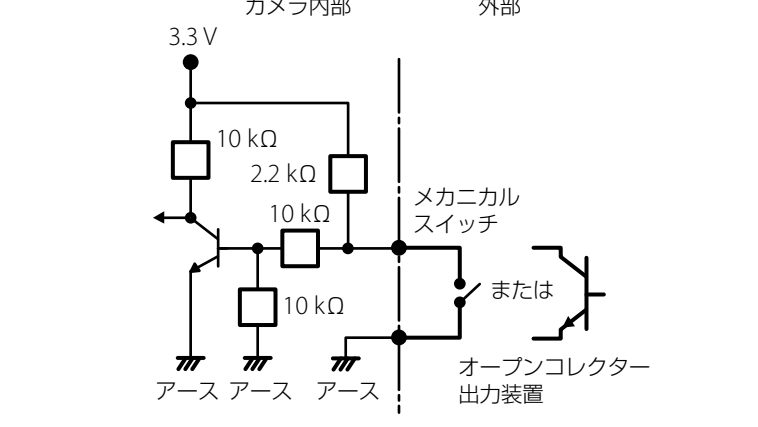
IEEE802.3at 準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3at 準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置

アラーム出力への配線図

主な仕様

ネットワーク
プロトコル　TCP/IP、ARP、ICMP、HTTP、FTP(サーバー /クライアント)、SMTP（クライアント）、DHCP (クライアント)、DNS（クライアント）、NTP（クライアント）、SNMP (MIB-2)、RTP/RTCP

圧縮方式
映像圧縮方式　JPEG/MPEG4/H.264
音声圧縮方式　G.711/G.726 (40,32,24,16 kbps)
最大フレームレート
　SNC-RH124：JPEG/MPEG4/H.264：30 fps (1280×720)
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：JPEG/MPEG4/H.264：30 fps (720×480)

カメラ
カメラ方式　SNC-RH124：カメラHD(720P)
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：カメラSD
信号方式　SNC-RH124：NTSCカラー /PALカラー切り替え方式
　SNC-RS46N/RS44N：NTSCカラー方式
　SNC-RS46P/RS44P：PALカラー方式
撮像素子　SNC-RH124：1/3型CMOS
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：1/4型インターライン転送方式CCD
　有効画素数
　SNC-RH124：約200万画素
　SNC-RS46N/RS44N：約38万画素(NTSC)
　SNC-RS46P/RS44P：約44万画素(PAL)
同期方式　SNC-RH124：内部同期方式
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：内部同期/電源同期切り替え方式
最低被写体照度
　SNC-RH124：1.9 lx (F1.8/AGC ON/50 IRE (IP))
　SNC-RS46N/RS46P：0.7 lx (F1.6/AGC ON/50 IRE (IP))
　SNC-RS44N/RS44P：0.4 lx (F1.4/AGC ON/50 IRE (IP))
水平解像度　SNC-RH124：480 TV 本(アナログビデオ出力)
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：530 TV 本(アナログビデオ出力)
映像S/N　50 dB以上(AGC 0 dB時)

レンズ
焦点距離　SNC-RH124：5.1 mm ～ 51 mm
　SNC-RS46N/RS46P：3.4 mm ～ 122.4 mm
　SNC-RS44N/RS44P：4.1 mm ～ 73.8 mm
最大口径比　SNC-RH124：F1.8(wide)、F2.1(tele)
　SNC-RS46N/RS46P：F1.6(wide)、F4.5(tele)
　SNC-RS44N/RS44P：F1.4(wide)、F3.0(tele)
最至近撮影距離
　SNC-RH124：10 mm(wide) ～ 800 mm(tele)
　SNC-RS46N/RS46P：320 mm(wide) ～ 1500 mm(tele)
　SNC-RS44N/RS44P：290 mm(wide) ～ 800 mm(tele)

メカ駆動
パン駆動　角度：360° 連続回転
　速度：400° /秒(最高)
チルト駆動　角度：210°（自動画面反転機能つき）
　速度：400° /秒(最高)

インターフェース
ネットワークポート
　10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション（RJ-45）
I/Oポート　センサー入力：×4、MAKE接点
　アラーム出力：×2（最大AC/DC 24 V、1 A）
　（メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）
映像出力端子　VIDEO OUT（BNC型）
　1.0 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負極性
CFカードスロット
　CF Type I/II
マイク入力　ミニジャック（モノラル）
　プラグインパワー方式対応（基準電圧2.5 VDC）
　推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ
　* マイク入力とライン入力はメニューによる切り換え
ライン入力　ミニジャック（モノラル）
　推奨負荷インピーダンス10 kΩ
　* マイク入力とライン入力はメニューによる切り換え
ライン出力　ミニジャック（モノラル）、最大出力レベル：1 Vrms

その他
電源電圧　DC 12 V ±10%
　AC 24 V ±10% 50/60 Hz
　IEEE802.3at 準拠（HPoE方式）
消費電力　SNC-RH124：最大25 W（DC 12 V入力時）
　SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P：最大23 W（DC 12 V入力時）
使用温度　0℃～ 50℃
保存温度　－20℃～＋60℃
動作湿度　20% ～ 80%
保存湿度　20% ～ 95%
外形寸法J（直径/高さ）
　ϕ154 mm x 226 mm（天井ユニット装着時、突起部含まず）
質量　約2 kg（天井ユニットを含む）
付属品　天井ユニット（1）
　シーリングブラケット（1）
　取り付けネジ（本体、ワイヤーロープ）(⊕M4 x 10) (4)
　電源入力ケーブル（1）
　BNCケーブル（1）
　I/Oケーブル（1）
　設置説明書（一式）
　CD-ROM（ユーザーガイド、付属プログラム）（1）
　テンプレート（1）
　ワイヤーロープ（1）
　リリースボタン保護板 (2)

別売アクセサリー
ワイヤレスカード　SNCA-CFW5*
ワイヤレスLANアンテナ　SNCA-AN1
天井埋め込みキット　YT-ICB124
ドームカバー (クリア)　YT-LD124C**
ドームカバー (スモーク)　YT-LD124S**

* SNCA-CFW5、SNCA-AN1 は一部地域では販売されておりません。詳しくはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

** ドームカバーを使用する場合は、天井埋め込み金具(YT-ICB124)が必要です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。
◆ 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有期間

発売終了後、原則7年間保有しますが、場合によっては代替部品等で対応いたします。